



2026年9月30日

各 位

会社名 内外テック株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩井田 克郎
(スタンダード・コード3374)
問合せ先 専務取締役 佐々木 政彦
電 話 03-5433-1123 (代表)

半導体領域への投資に特化したVCファンド※1

「Taravine Partners 1号投資事業有限責任組合」への出資に関するお知らせ

当社は、昨日開催の取締役会において、半導体領域に特化したベンチャーキャピタルファンド「Taravine Partners 1号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」という。）に対し、LP投資家※2として出資することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、Taravine Partners 1号有限責任事業組合（以下「Taravine 社」という。）が運営するVCファンドであり、当社がLP投資家として出資するほか、複数の投資家からの出資により組成されるものです。なお、当社がVCファンドに対して出資を行うのは今回が初めてとなります。

記

1. ファンドへの出資の理由

当社グループは、更なる拡大が見込まれる半導体市場において、新たな価値・未来を創造すべく、2030年度の目指す姿をパーパスである「あらたな価値の創造」と定めており、本出資は、本年5月に公表しました当社中期経営計画「MIRAI 2030」 Naigai Frontier Gate戦略（①フィジカルAI戦略 ②AI/SCMシステム戦略 ③AI人財育成戦略）における成長投資の一環となります。

本ファンドは、半導体設計、次世代半導体素材開発、次世代半導体パッケージング技術等の分野における有望なアーリーステージ企業を主な投資対象としており、当社の事業領域の拡大のほか、Taravine社の市場探索力やネットワークの活用により、フィジカルAI戦略のキーデバイスとなるセンサー技術やAI/SCMシステム戦略における周辺要素技術力の強化等につながるものと判断いたしました。

2. 本ファンドの概要と特長

<概要>

ファンド名称	Taravine Partners 1号投資事業有限責任組合
投資目的	半導体設計技術及び半導体周辺要素技術を持つアーリーステージスタートアップへの投資及び成長支援・LP事業会社との協業機会創出
投資地域	日本（50%以上）、台湾/EU/米国など
運用期間	10年
無限責任組合員(GP)	Taravine Partners 1号有限責任事業組合

<特長>

Taravine社は、半導体分野に経験値の高い本村天氏・Chris Liao氏・大森栄作氏が出資するVC事業を運営する事業組合であり、「日本の半導体技術のエコシステム強化」「日本の半導体要素技術のプラットフォーム化と、それらの最適アプリケーションへの接続を通じて日本のアプリケーション力強化」というミッションのもとで国内外の半導体や量子などのディープテック分野に特化してVC投資を行い、日本の優れた研究力や要素技術をプラットフォーム化してグローバル市場へと展開するとともに、当ファンドのLP事業会社と戦略的に接続することを強みとしています。

3. 今後の取り組みと見通し

当社は、5月に公表しました「中期経営計画「MIRAI 2030」 Naigai Frontier Gate戦略」に基づき、先に発表しました「MIRAI 2026」の基本戦略（①生産キャパシティ拡大 ②技術開発力の拡大 ③保守メンテナンスサポート拡大）に加え、①フィジカルAI戦略（2030年問題解決に向けたAI×ロボティクスで製造装置の自動組立化により受託製造事業の生産性を劇的改善）②AI／SCMシステム戦略（AIエージェント活用で「調達のハブ」へ進化）③AI人財育成戦略（AIを活用した技術者及び技能者のナレッジ継承）を進めております。本ファンドへの出資を通じて、これらの技術開発力を強化することで、戦略の早期達成を進めてまいります。

なお、本出資による2027年3月期の連結業績に与える影響は軽微であることを見込んでおりますが、今後、業績予想の修正等、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上

※1 新興企業・スタートアップ企業への出資を中心とするファンド

※2 ファンドに資金を提供し、出資した金額を超える責任を負わない有限責任投資家を指す